

### 第 29 号

### 平成24年5月5日発行

発行/宇 佐 市 議 会 直通:0978-32-2328 Fax:0978-32-1437



カメラマンとなってビデオ撮影をする6年生

### 宇佐市立深見小学校

(児童数 68 名:福貴野分校含む)

「地域に開かれた学校」「地域と共にある学校」 そして「知・徳・体の調和の取れた自浄能力を培う 学校」をめざして、深見小学校は、色んな活動に取り組んでいます。本年度は、特に「深見まちづくり協議会」と「大分大学山浦ゼミ」の協力を得ながら「七夕ぶどう」の取り組みを通して被災地との交流を図ってきました。3月には6年生をカメラマンにしての全校でのビデオレター作りを行い、被災地の小学校へエールを送ることができました。また、「深見っ子しぐさ」を取り入れることで、美しい振る舞いのできる子どもたちが育ちつつあります。



高齢者の方達と「元気生き生き体操」を行っている子ども達(1、2年生)

### 宇佐市立豊川小学校 (児童数 266 名)

宇佐市立豊川小学校は、宇佐平野南部の駅館川沿いの自然や歴史遺跡など豊かな教育環境に恵まれた地に位置しています。地域の教育意識が高く、「ふれ合い花植え活動」「グラウンドゴルフ大会」「和尚山親子登山」など、学校と地域とが連携した活動が数多く取り組まれています。また、学習やクラブ活動の中でも、地域の方をゲストティーチャーとして招いての学習も進められています。

左の写真は、地域高齢者の方と子ども達とが新聞紙を使って「元気生き生き体操」を行っているところです。子ども達は、高齢者の方から豊かさを学び、高齢者の方は子ども達から元気をもらいます。

### 3月定例会

- ・平成24年度一般会計・特別会計の当初予算案を可決
- ・平成23年度一般会計・特別会計の補正予算案を可決

### 議会インターネット中継始まる!!

うち3件を採決、1件を不採

1件を継続審査、そのほ

続審査の請願合わせて5件の

また、今定例会に提出、

継

### (歳入歳出264億8,000万円)

説明がありました。

件が上程され、市長から提案理由の

議決案15件及び条例案16件と報告5

5号)などの予算案20件ほか、

一般 (第

平成23年度一般会計補正予算

# ◇継続審査となっていた請願の審

あり、その審査結果を基に採決を行 任委員会から請願2件の審査報告が 続審査としました。 不採択、建設環境常任委員会分を継 いました。文教福祉常任委員会分を 文教福祉常任委員会と建設環境常

# 〔本会議第2~4日〕

間の会期で開催しました。

28日から3月16日までの18日

平成24年3月定例会を2月

(3/6·8)

## ◇一般質問

め57件で、すべてを原案のと

上程された議案は追加を含

おり可決・同意しました。

政一般に対する質問を行いました。 3日間にわたり、14名の議員が市

# **【本会議第5日】**(3/9)

## ◇議案質疑

か意見書案2件を可決しまし

ました。 上程された議案に対し質疑を行い

### ◇諸報告

◇議案の上程及び説明

**【本会議第1日】**(2/28)

会の報告がされました。 字佐・高田・国東広域事務組合議

広るさき

譲二氏

## 質疑・討論・採決 ◇各常任委員会の審査報告の後

した。 採決を行いました。議案51件を原案 査報告があり、その審査結果を基に のとおり可決。請願3件を採択しま 各常任委員長から議案・請願の審

## ◇農業委員の推薦

名を推薦しました。 議会推薦の農業委員については四

# ◇追加議案・意見書案の上程

可決しました。 されました。また、意見書案2件を 人事案6件が追加提案され、 同意

## 《副市長の選任》

信 感 に 和徳氏

(安心院町飯田)

# 【本会議第6日】(3/16)

# 《農業委員の推薦》

水がまっ 郁なる 氏 (日足)

くどう

早苗氏 (安心院町萱籠)

秀司氏 (院内町岡)

衛<sup>え</sup>を藤っ

# 〈人権擁護委員の推薦》

石川かり 淑子氏(院内町御沓)

渡たなべ 敬二氏 (四日市

澄夫氏 (安心院町辻)

## 《公平委員の選任》

正子氏(金屋)

## 《教育委員の任命》

建比古氏 (四日市)

### 平成24年3月 第1回宇佐市議会(定例会)議決結果一覧

### ○議 案

<b>○</b>		
番号	件名	結 果
議第 1 号	平成23年度宇佐市一般会計補正予算(第5号)	原案可決
議第 2 号	平成23年度宇佐市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	//
議第 3 号	平成23年度宇佐市介護保険特別会計補正予算(第3号)	//
議第 4 号	平成23年度宇佐市農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)	//
議第 5 号	平成23年度宇佐市簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)	//
議第 6 号	平成23年度宇佐市公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)	//
議第 7 号	平成23年度宇佐市特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)	"
議第8号	平成23年度宇佐市介護サービス事業特別会計補正予算(第3号)	"
議第 9 号	平成23年度宇佐市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	"
議第10号	平成23年度宇佐市水道事業会計補正予算(第1号)	"
議第11号	平成24年度宇佐市一般会計予算	"
議第12号	平成24年度宇佐市国民健康保険特別会計予算	"
議第13号	平成24年度宇佐市介護保険特別会計予算	//
議第14号	平成24年度宇佐市農業集落排水事業特別会計予算	//
議第15号	平成24年度宇佐市簡易水道事業特別会計予算	//
議第16号	平成24年度宇佐市公共下水道事業特別会計予算	//
	平成24年度宇佐市特定環境保全公共下水道事業特別会計予算	//
議第18号	平成24年度宇佐市介護サービス事業特別会計予算	//
議第19号	平成24年度宇佐市後期高齢者医療特別会計予算	//
議第20号	平成24年度宇佐市水道事業会計予算	//
議第21号	宇佐市組織条例の一部改正について	//
学生22日	宇佐市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例及び	
議第22号	宇佐市職員等の旅費に関する条例の一部改正について	//
議第23号	宇佐市税条例の一部改正について	"
議第24号	固定資産税及び都市計画税の納期の特例に関する条例の一部改正について	"
議第25号	宇佐市手数料条例の一部改正について	//
議第26号	宇佐市宇佐文化会館・ウサノピア条例の一部改正について	"
議第27号	宇佐市院内文化交流ホール条例の一部改正について	//
議第28号	宇佐市民図書館条例の一部改正について	"
議第29号	宇佐市国民健康保険税条例の一部改正について	//
議第30号	宇佐市介護保険条例の一部改正について	"
議第31号	宇佐市農地、農業用施設災害復旧事業分担金徴収条例の一部改正について	//
議第32号	宇佐市市営住宅条例の一部改正について	//
	宇佐市水道事業の設置等に関する条例の一部改正について	//
議第34号	宇佐市防災会議条例の一部改正について	//
議第35号	宇佐市火災予防条例の一部改正について	//
議第36号	宇佐市自然体験の館条例の廃止について	//
議第37号	市有財産の無償譲渡について	//
 議第38号	宇佐・高田・国東広域事務組合規約の変更について	"

### ○議 案

番号 件 名 議第39号 臼杵市と宇佐市との証明書等の交付等に係る事務の委託について 議第40号 津久見市と宇佐市との証明書等の交付等に係る事務の委託について 大分市と宇佐市との証明書等の交付等に係る事務の委託に関する規約の変更に関する協議について について 別府市と宇佐市との証明書等の交付等に係る事務の委託に関する規約の変更に関する協議	結果 原案可決 "
議第40号 津久見市と宇佐市との証明書等の交付等に係る事務の委託について 大分市と宇佐市との証明書等の交付等に係る事務の委託に関する規約の変更に関する協議 について 別府市と宇佐市との証明書等の交付等に係る事務の委託に関する規約の変更に関する協議	//
大分市と宇佐市との証明書等の交付等に係る事務の委託に関する規約の変更に関する協議 について 別府市と宇佐市との証明書等の交付等に係る事務の委託に関する規約の変更に関する協議	
議第41号 について 別府市と宇佐市との証明書等の交付等に係る事務の委託に関する規約の変更に関する協議	
別府市と宇佐市との証明書等の交付等に係る事務の委託に関する規約の変更に関する協議	//
議第42号 について	//
中津市と宇佐市との証明書等の交付等に係る事務の委託に関する規約の変更に関する協議 について	"
株築市と宇佐市との証明書等の交付等に係る事務の委託に関する規約の変更に関する協議について	//
宇佐市と由布市との証明書等の交付等に係る事務の委託に関する規約の変更に関する協議について	"
宇佐市と国東市との証明書等の交付等に係る事務の委託に関する規約の変更に関する協議について	"
宇佐市と日出町との証明書等の交付等に係る事務の委託に関する規約の変更に関する協議について	"
宇佐市と九重町との証明書等の交付等に係る事務の委託に関する規約の変更に関する協議 について	"
竹田市と宇佐市との証明書等の交付等に係る事務の委託に関する規約の変更に関する協議について	"
議第50号 佐伯市と宇佐市との証明書等の交付等に係る事務の委託に関する規約の変更に関する協議 について	"
宇佐市と豊後大野市との証明書等の交付等に係る事務の委託に関する規約の変更に関する 協議について	"
議第52号 宇佐市人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	原案同意
議第53号 宇佐市人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	//
議第54号 宇佐市人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	//
議第55号 宇佐市公平委員会委員の選任について	//
議第56号 宇佐市教育委員会委員の任命について	//
議第57号 宇佐市副市長の選任について	//

### ○議員提出議案

番号	件名	結 果
議員提出議案第1号	宇佐市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	原案可決

### ○意見書案

番号	件名	結 果
意見書案第1号	350万人のウイルス性肝炎患者の救済に関する意見書	原案可決
意見書案第2号	介護保険制度の抜本的改革を求める意見書	//

### ○請 願

番号	件名	結 果
請願第1号	市道(安心院町木裳交差点~市立安心院小学校前交差点まで)の歩道拡張に関する請願書	採択
請願第2号	350万人のウイルス性肝炎患者の救済に関する意見書採択の請願書	//
請願第3号	体育館建設用地の確保並びに体育館建設にかかる請願書(駅館小学校)	//

### ○閉会中継続審査の請願

番号	件名	結 果
平成23年請願第13号	· 国へ原発依存から自然エネルギーの転換を求める意見書の採択に関する請願書	継続審査
平成23年請願第15号	・ 介護保険料の引き下げと減免制度の拡充など介護保険制度の改善を求める請願書	不採択

強化する。

向上支援教員を市単独予算を組んで 程度で推移している。来年度は学力 継続しており、中学は上位から中位 成果について問う。

小学校は大分県トップクラスを

の学力向上に向けた取り組み内容と

問② 平成23年度の小学校、

中学校

彰事業等を行う。 教育支援員配置事業、

### 市 対政 でする質問で一般に

いました。 たって、14名の議員が質問を行



徳田哲

### (愁山会)

## 問3 徳育について問う。

非行については、善悪の判断や自己 に取り組んでいく。 立した生活が出来るように指導する。 肯定感の育成を図り自信をもたせ自 あると考えている。読書の習慣づけ 挨拶は道徳教育の入口の指導で



問①

平成24年度の教育予算につい

教育日本一を目指して

て主な事務、事業を問う。

学校施設耐震化事業、特別支援

郷土の偉人顕

## 消防署の組織及び今後の 取り組みについて

## 問 金を80歳以上にすべきでは。 敬老祝い金について敬老奨励

検討してみる。 円となっているが、今後、委員会で に700円を支給して年間990万 敬老行事報奨金として70歳以上

## 問②企業誘致について。 致を進めている企業は。 現在、進出を希望の会社又は誘

事しているのは17名。

れている。 業進出と2社の大規模な増設が行わ 実績は平成22年度から3社の企 県外企業訪問活動は延べ14社で

## は。 宇佐未来創造フォーラムの成果

るが。

に採用され、逃している様に見受け

告を受けている。 数件の新たな取引が開始されたと報 本年は60社が参加し成果として

> 問3 275人が重度の障害になっている。 昨年まで28年間で114人が死亡、 武道必修化について柔道で

成と研修を十分行いたい。 安全な実施のため、 指導者の 育

宇佐市の取り組みは。

加来栄一(日新会)

### 問4 消防について。

常勤職員88名と再雇用職員は3 消防本部と再雇用者の人数は。

名で計91名。

るが事実は。 生した時、到着が遅れたと聞いてい 適用され、常勤者と同様です。 内で、保障は社会保険と災害補償も 先日二箇所で同じ位に火災が発 非常勤職員として任期は1年以 再雇用の身分と契約期間は。

本部の小隊が出動したので大き

く遅れてはいない。 救急救命士は何名いるか。 有資格者は21名ですが業務に従

(6)る人が有利では。 (5)そのようには考えていない。 採用試験の時、 宇佐市出身の優秀な人材が他市 資格を持ってい

適正な採用をしている。



河野睦夫(両院クラブ)

## 援の取り組みについて 学校教育予算及び障がい児支

問

学校教育費について。

(1)

学校の遊具や図書の整備状況及

び今後の計画

う努める。 年度以降も図書費1200万円を計 上し、26年度までには達成できるよ 冊数は2万8千冊不足している。 していく。学校図書標準に対し不足 具点検を毎年実施し、計画的に整備 修整備、撤去を実施。24年度から遊 答 今年度、危険性の高い遊具の補 24

# ② PTAからの要望状況及びその

緊急度が高く、安全面、 ている。学校施設の改修及び修繕は 内容を踏まえ24年度の予算計上をし 学校に重点要望事項を調査し、 の確保については、今年度、 答 主な要望事項の中でも教育予算 環境面を最 各小中

> 優先し対応している。 の情報の共有は。 障がい児について関係部署間で 障がい児の支援について。

「宇佐市自立支援協議会」の療

市の関係部署の連携と情報共有体制 ファイル「あしあと」の活用につい が作られている。 就学時における支援及び支援 教育部会を中心に、関係機関や

ていく。 ている。今後も「あしあと」を活用 こやか相談会」に学校教育課が就学 子育て支援課の実施する「5歳児す 係機関において一貫した支援を行っ 会議」を行いながら就学支援を行っ 相談のため参加。就学後も「ケース ライフステージを通しての、 「就学時健康診断」だけでなく 関

## (3)ターとの連携は。 学校現場と学校コーディネー

等の専門家等との連携促進を行って 学校現場の連携促進と宇佐支援学校 教育コーディネーター」を配置し、 現在、市内全学校に「特別支援





大隈尚人(市民クラブ)

問① 震災の教訓を受け、防災無線を戸別 受信にすべきでないか。 防災無線対策について東日本

防災無線対策について

問② 安心院高校の通学路について に伝達する必要性は認識している。 べきでないか。 九人ケ峠トンネル内の歩道が狭く自 であるが、緊急避難情報を早く確実 転車での通行が困難である。改善す 全市戸別受信は、予算的に困 難

問3 る。 幅は、技術的に困難であると思われ 市において通信ができないエリアの 構造や周辺の状況から歩道の拡 県に対し要望していきたい。 携帯電話の拡大について宇佐

問④院内支所の改築について。 県と連携していきたい。 携帯電話圏外地域の解消に向け 跡地利用について。

> 築後の扱いはどう考えているか。 を立ち上げることはない。 用する考えであるため、検討委員会 提供を受けた歴史的文化財の 野外イベント用の広場として利 建築後は2階の歴史的民族資料

改

問 5 間総括を聞きたい。 当初モデル地区3年経過したが、 ホールにおいて公開する。 地域コミュニティーについて 中

所もある。 るさと納税などの寄付に努めてい の低下等の問題も生じているが、 自主財源の確保や住民参加意識 引き続き支援したい。 Š



問 ついて院内町白岩地域で災害や交通 事故等による道路の寸断が懸念され 東九州自動車道のアクセスに

の柔軟な交通規制を道路公団に要望 していく。 緊急時の院内インターチェンジ

院で家を建てたい場合、 農地転用について院内や安心 緩和するべ

答 農地法が一部改正され原則、 難



後藤竜也(七福会)

教育、 市立幼稚園等に関して 教科書、

## 間 学校教育に関して。

に努めている。 学校長と連携を取りながら解決 学校長や教育委員会に報告があ 学校と親とのトラブルの報告は。

市内の教員の加配の状況は。 県の加配だけでは不十分な為

配置が完了する予定である。 市独自に教員を配置している。 平成24年度までに全ての学校に 道徳教育推進教師の配置状況は

公平公正に選定されているか。 教科書選定に関して。

> (2)規則に則り公正に行っている。 教科書選定委員の構成は。

> > 監視を強化していく。

(3)PTA代表の計7名で構成している。 の教育長、教育委員長、学識経験者 共同採択地区を返上し、 採択地区の宇佐市、豊後高田

の単独採択にしてはどうか。 現在、特に問題が無い為、 現状

維持を考えている。 市立幼稚園を廃止し、民間に委 市立幼稚園に関して。

託してはどうか。 (財政、 効率面か

(2)今後も運営形態を検討していく。 行財政改革プランに基づいて、 四日市が33名、長洲が6名。 市立幼稚園の総園児数は。



(1) 問 4 不法投棄の実態は。 美しい宇佐市に向けて。

21年度は20件、22年度は30件。

問6 して。 問⑤固定資産への課税、 答 も補助すべきだが。 市民に分かりやすく行っていく。 の課税でなく、明確にすべきだが。 (2)固定資産評価基準に基づいて 敷地内の物置等、曖昧な基準で 既存街灯のLEDへの切替えに 今後、検討していく。 ポイ捨て禁止条例を設置しては 今年度より補助率を上げる。 設置の補助率を上げるべきだが 街路灯の設置に関して。 算定に関

今年度より補助する。

問2

市庁舎・

安心院支所・議会

していく。



辛島光司(光りの会)

行政 の経費削減について、 (職員) と議会 · (議員)

問① 減が国会を通過、地方公務員に対し とだが、宇佐市の対応は。また、今 ては「各自治体に任せる。」とのこ 国家公務員の給与フ・ 8%削

> 解得られるよう、行財政改革を推進 き続き、 億5千万円)と149名(8億9千 だったが、 に820名(人件費8億4千万円) 数や人件費・議員の定数や歳費につ 後の厳しい財政事情を鑑み、職員の 万円)の削減をしている。今後も引 力を続けていくことが必要と思うが。 いて市民に理解得られるよう削減努 当市においては、平成17年度 将来を見据え、市民にも理 23年度には671名(59

等を見ながら、慎重に計画していき 42です。26年度までに、財政状況 25、議会棟0. が、市庁舎0. 後の対応は。 棟・消防本部の耐震診断の結果と今 建物の耐震性を示すIS値 13、安心院支所0 13、消防本部 0

けた取り組み状況は。 問③ スポーツ推進計画の策定に向

24年度中に計画策定を目指す。 ング実施した上で検討・協議を行い 各スポーツ競技団体等からのヒアリ ろ。今後は計画策定委員会を設置し、 査とスポーツに関する市民の意識調 画で、現在は社会体育施設の現状調 充実などの施策を推進するための計 査を行う為の準備を行っているとこ スポーツ施設整備や活動機会の

必要があれば通水断面確保の検討を 行う。」との認識でした。 ている。今後も観測を続ける中で、 ろ「パトロール時に目視で観察をし わたる泥の堆積が顕著であるが。 宇佐土木事務所に確認したとこ 寄藻川河口付近では、



永松郁(日新会)

# 学力向上の取り組みは

## 間 に向けた取り組みは。 宇佐市教育委員会の学力向上

「平成23年度宇佐市学力向上推

進計画」を策定して、学力向上の取 として、各教科 部会と連携し 結果をもとに、「考える力」 答 全国学力・学習状況調査B問題 問② P ー S A 型 教育 の 、 り組みを進めて来た。 教育現場 一を中核 授業

の結果と教育委員会の取り組みは。 改善を図っている。 教職員評価及び学校評価制度

> た評価項目、 家庭・地域の連携協力による学校づ 学校だより等を通じ説明したり、 を通し的確に把握し、 くりを進めている。 表することで、理解を得て、学校・ 行っている。学校評価については、 教職員評価については、示され 評価基準に基づき年間 相対評価を

## り組み、また、支援は。 父親部会等の設置に向けた取

ある学校活動の推進を行う。 学校・保護者・地域と連携した特色 を創設している。今後も支援を行い 「学校環境整備活動支援事業

育活動に適したボランティアの設置 を行うなどの支援を行っている。 活動が必要と思うが、取り組みは。 た。地域と学校が絆を深め、 学校の要望や依頼を受けて、 学校支援地域本部が設置され 様々な 教

問 極的に参加し、研修に励んでいる。 いく。安全については、研修会に積 指導と安全対策は。 伝統文化に触れる機会を広げて 礼儀や公正な態度の育成をめざ 中学校で武道の授業が始まる。

学校とPTAとの協議が必要。 宇佐市の給料表の制度運用の

中学生のヘルメット着用は。

でき、 「宇佐市行政改革ビジョン」に 国に準拠した制度及び地域

> 水準を基本に適宜、見直しを行って 41 る。



(日新会)

新開洋一

## マニフェストを踏まえて 市長任期最終年度控え

1

順調に推移している件。

した。 県の経済対策等を最大限活用し情報 問 3件の企業誘致、2件の大型増設を えをした。厳しい企業立地環境の中 公共投資を増やし、地域経済の下支 路、学校の耐震改修等の促進により 通信ネットワーク、生活道路や通学 景気、雇用対策について、 国や

化の推進、ワイン祭の復活、浜の市 会を立ち上げ、周辺部は小規模集落 の創設、双葉山生誕100年記念事 人件費は4億円の減、 対策に力を注いでいる。 地域振興対策について、六次産業 攻めと守りの財政運営について、 両院地域全てでまちづくり協議 地方債残高は

> 今後も攻めと守りのバランスのとれ 債基金の合計は21億円の増であり、 14億円の減、 た行財政運営を行う。 一方、 財政調整資金減

## らない件。 困難だがやりとげなければな

り乗り切らなければならない。 さらに徹底させ、全職員が一丸とな 動をベースとした職員の意識改革を めには、 ればならないと思っている。そのた であり、 インターネット等の情報化、 社会保障費の増加、 安全安心対策等への対応が課題 推進してきたトリプルA運 困難であるがやりとげなけ 景気低迷、 危機管

## 業所の跡地利用について。 安心院町下毛の亀の井バス営

それ以外の利用についての計画はな 個人に駐車場として賃貸しているが、 景観形成重点地区に指定予定で 現在、閉鎖されているし、 部



亀の井バス営業所跡地

駐車しているとの認識はある。 がないために乗り入れを自粛してい ある。下市の中に大型バスの駐車場 と協議したい。 ながら借り上げ等を含め亀の井バス 地であるが地元や各団体と協議をし るし、離れた支所の駐車場や路肩に もあり、鏝絵の存在も貴重な財産で



(日本共産党)

今石靖代

きい。安全の確保や住民合意なしに

受け入れるべきでないが。

値上げはすべきでない 介護保険料のこれ以上の

3年間の保険料の見直しとなる。 宇 値上げはすべきでないが。 ので、基金50億円の一部を使って、 の負担は、高齢者の生活を脅かすも げが問題になっているが、これ以上 24年度は、第5期計画が始まり、 全国で介護保険料の大幅値上

となる。ご理解いただきたい。 したが、基準額で947円の値上げ 佐市としては、可能な限りの努力を 生活困窮者の保険料は減免で

> きるように改善すべきでないか。 免できる制度を設けた。 市の独自減免として、 2割を減

問⑤被災地のがれき受け入れは、 でないか。経済的な理由による教育 放射能汚染の拡散を心配する声が大 今後も他市の状況をみて検討したい の格差解消は最優先であるべきだが 活動費やPTA会費等も加えるべき 高田市・日田市等のように、クラブ 算定の通知時に、該当者に知らせる。 県内で4市が実施しているが、 市報で知らせたり、保険料の本 制度の周知の徹底は。 就学援助制度の対象に、

ひどい。



化 しており、 市の焼却施設は、 処理は物理的に困難。 30年たち老朽

> 問 6 問⑦ 市営住宅は、市がもっと管理 集合ポストがさびて壊れているなど かるべきでないか。下水の汚泥や、 責任を果たし、生活環境の改善をは 供を願っているが。 ついて、住民は1日も早い墓地の提 在地元と具体的な協議に入っている 23年度に施設の解体を終え、現 糸口山の火葬場の跡地利用に

だきながら、市としても環境整備に 努めていきたい。 適に生活できるように、ご協力いた としても対応している。居住者が快 は改善が困難な箇所については、市 答 構造上や老朽化によって住民で



河野康臣(市民クラブ)

守る取り組みについて 市民の生活と健康・いのちを

問① 県職1名・教職員12名である。 本年度県・教職員の死亡者は。 教職員現職死亡の現状は。

> 問2 働環境点検や要望等を集約している。 排除や心や健康の相談活動を行う。 幸いにして、宇佐市はゼロである。 へのアンケート調査等で危険箇所把 に関して、実地調査と住民・児童等 心の病が増えている。労働過重 委員会は学期ごとに設置し、労 校内労働安全委員会の活動は。 現職死亡撲滅の取り組みは。 生活道路・通学路の安全対策

問3 がった要望等で対応している。 自治委員やPTAなどから上 買い物難民対策について公設

握はできないか。

域のニーズと合意が必要である。 が寄せられている。直売所設置は 品購入で困っているアンケート結果 の直売所などの具体的対策は 市内約8割の31自治区で、 日 用

問4 問 5 進協議会」の活動成果は。 公園の整備・遊具充実を図りたい。 ある。新規設置は難しいが、今ある 育て中の方々から遊具の充実の声も 童公園づくりなどの計画はないか。 市内に61ヶ所の公園があり、子 「宇佐市自殺予防・対策強化推 自殺予防対策等について。 市民がいこえる遊具のある児

署・民生委員等からなり、 「の相談が寄せられた。 た。保健所・社協・警察署・ H21年度から県の補助事業で始 本年度38 消防

問 (2) でのつながり作りが大切である。 ゲートキーパー育成や日常的な地域 セーフティネットをどう広げるか。 環境保全のため計画的に実施。 自殺予防対策の相談機関の周知 全世代のいのちと健康を守る 公用車のエコカーへの切り替



用松律夫(日本共産党)

深まるばかり 尾永井の土地購入問題の謎は

(6)

何度も明石機械を訪問している

たことは一度もないというが。 明石機械のそういう主張は理解 明石機械は尾永井を候補地とし 土地購入問題について。

と言っているが、どうか。 う答弁だが、明石機械はあり得ない でに社屋の完成を」と言われたとい 明石機械から「平成19年12月ま

るかもしれないが、12月末までに土 一点だけとると、そう読み取れ

> 率から見てあり得ない話だ。 mあり、尾永井は3万7千㎡建ぺい の引き渡しをという説明だ。 明石機械九州工場は約3万9千

朝倉市に聞いたところ約1万8

(3)地

でない」等と議会で答弁しているが、 千 団地にしたいから買収にかかった訳 ㎡で問題ない。 当時の副市長は「尾永井を工業

という説明だ。 矛盾するのではないか。 受け皿づくりと並行的に進めた

用地不足だった」と議会で答弁して ではないか。 いるが、最初からわかっていたこと 当時の副市長が「負けた理由は

が遅れた事はマイナスだった。 約7万㎡の4期計画で、2期分

円で更地にする費用が支払われたと いう説明はおかしい。 産評価額に上乗せした約1億1千万 用は西日本土木の負担とある。不動 返答の文書はあったのか。 文書が来たということはない。 売買契約書では更地にする諸費

税に引き上げ抑制と負担軽減を。 負担してもなんら問題はない。 西日本土木が約3億円の中から 市としては最大限努力した。 約50億円の基金を使って国保

他市では放射能測定の結果を

市も公開を。 ホームページで公開している。宇佐

混乱を招くので公開しない。



井本裕明 (若宮会)

宇佐神宮を中心とした宇佐の

観光振興について

問① 近隣都市や観光地からの誘客

を行った。高速道では福岡 写真を掲載した時刻表を無料配布し 等では、博多・小倉駅で宇佐神宮の 多どんたく参加等によって観光宣伝 りINせんちゅうパル、福岡での博 まず都市部は、浅草「駒形どぜう」 考えて、戦略的にPRを行っている。 も情報発信になっている。交通機関 を行った。市内の各種祭やイベント での観光大使・桂平治師匠の寄席ラ についての現状の取り組みは。 た。ANAの機内誌に宇佐神宮の写 イブ、関西でのおおいた竹ものがた 答 宇佐神宮は全国に誇る市の宝と 大分空港では観光物産展 山山

> については計画的にリニューアルす 光案内板等については、 問② 宇佐神宮周辺に設置した観光 さらに情報発信力を強化したい。 村では主要観光・宿泊施設に観光パ マップ6万部を配布した。近隣市町 大分のサービスエリアにおいて道 る。その他は所有者に働きかける。 案内板のリニューアル等について。 ンフなどを配布している。 現在神宮周辺に設置している観 市の所有物 今後は、



問3 と宇佐駅を起点にレンタサイクル 転車の利用状況等について。 モデルコースを示したマップを作 今年度中に促進のため柳ケ浦 観光協会や昭和のまち等と連 昨年実施した、 観光用電動自 用 駅

携して進めたい。

### く必要があると考えている。 答 神宮や関係者に協議してい ついて。 仲見世前の夜間照明の設置に ただだ

問⑤ 観光情報発信のためのデジタ ルスクリーンの設置について。

報の発信においても有効な媒体とな ると考えている。 り、最適な広告媒体である。 スクリーンは視認性に優れてお 観光情



衛藤義弘(公明党)

## 遊休農地の解消についてなど 市営住宅について及び

宅整理システム化にしては。 策は。きめ細かな対応のため公営住 の滞納額になっている。対応・解決 滞納累計額が381件の1億328 6万円となっており、県内で2番目 2010年度宇佐市営住宅の

らんだ。顧問弁護士との連携や悪質 の滞納者に督促や訴訟提起による法 徴収率の低さと年々滞納額が膨

> 的措置で1300万円の縮減を図っ た。システムについては、 調査・研

問② 資格要件で、単身者は満60歳 要件はない。変更予定はないか。 に生まれた者とあるが、県営住宅に 以上の者又は昭和31年4月1日以前 現状で問題ない。

の合間に広告を放映することによっ 提供したらどうか。また、市政情報 などを液晶モニターを設置し映像を ニターサービスを行い、行政情報や しては。 て、広告費として新たな財源を確保 市民行事・各種イベントや観光案内 市民サービスの観点で電子モ

たい。 思われる。既に導入した自治体の事 確保へつながる効果が期待できると 例を参考に、 行政財産を有効活用した新たな財源 み合わせて情報を伝えるとともに、 音声で市政情報や企業広告などを組 庁舎ロビー等において、 調査研究を進めていき 映像や

問4 制度を開始しては。 地の貸し借りを仲介する農地バンク 遊休農地の解消のために、 農

問 5 いる。 平成23年6月定例会において質問を 被災者支援システムについて

ク制度に向け現在取り組みを進めて

農地の有効利用のため農地バン

# したシステムについて導入を検討し

題であり、業務支援システムの導入 答 県と各市町村に共通した検討課 を検討しておく必要がある。



広崎譲二 (未来の風)

定住満足度日本一の目標について

は。 問 いるが、6次産業の今までの達成度 1 就任3年が経過しようとして

等を検討してみては。

調査並びに、川に親しめる公園造り

問④駅館川の水質、

魚道、

の

問② 中学校入学時又は、高校入学 学校の学力や部活動のレベルが低い 時に生徒が市外に進学する事例を良 達成である。 倍増させる目標は、平成22年度末で 外へ流出してしまうことは市にとっ 約1億円増と、 売上げ10億円を平成26年度末までに て大きな損失であると思われるが。 ためとの事である。有望な若者が市 く耳にする。その理由が市内にある 平成20年度における直売所等の 額として1割程度の

> でいる。 研修や教師の授業力向上に取り組 欲的に学習ができるよう教育内容の 徒が自分の将来に夢や目標を持ち意 るキャリア教育を推進し、児童・生 個性や将来の進路等について学習す 校」づくりを推進し、児童・生徒 学校」や 学校経営に活かせるよう「開かれた 地域・保護者等からのご意見 「確かな絆で結ばれた学

きく変更はしない。 市計画道路や用途地区については大 の見直しに主眼が置かれており、 市計画道路の見直しを行うべきでは。 問③ 用途地区の見直しに伴い、 市域の拡大に伴う全体的な構想 都

加したりする事で取り組みを有機的 の活動を合同開催したり、 たりする場を作ると共に、各種団体 くとも年に一度は各団体や行政が交 連携させていく。 をして、共に学んだり意見交換 し、この協議会を核として、少な 上下流交流のための協議会を設 相互に参



# 議会インターネット中継

移行する予定です。是非、「宇佐市議会 皆様の議会への関心度が高いことが改め 約2500件のアクセスがあり、市民の 中継・録画配信)致しました。現在まで を活用し、本会議の模様を試験配信(生 の動画共有サービス「ユーストリーム もった議論を生で感じてほしいと思って 議員及び執行側の緊張感あふれる熱のこ インターネット中継」にアクセスして、 て伺われました。今後、本格的な配信に 3月定例会において、インターネット

現地調査を行いました。

# 森林活性化植樹大会

植樹しました。 の議員による森林活性化植樹大会を長洲 海岸で開催し、 2月28日に初日議会終了後、 浜辺に松の苗100本を 毎年恒例

終了しました。 したが、協力し合い1時間程度で作業を 当日は風が強く雨が降りそうな天気で



植樹をしているようす

現地調査をしているようす (安心院小学校付近の歩道)

請願書 設用地の確保並びに体育館建設にかかる 任委員会において請願第3号「体育館建 3月12日に開催されました文教福祉常 (駅館小学校)」の現地調査を行い



安部光代

# 請願第1号と第3号の 現地調査

交差点まで)の歩道拡張に関する請願書 心院町木裳交差点~市立安心院小学校前 3月12日に開催されました建設環境常 てもびっくりしなくなりました。そ の一番奥、イノシシやシカと出会っ 区を紹介したいと思います。 私が暮らしている院内町南院内

任委員会において請願第1号「市道

となって頑張っています。また、大とを守っていこうと地域住民が一体 500名、 少です。50年前は小学生の人数がんな中で感じることは子供の数の減 逸見邸庭園、 と」の歌に出てくる自然がまだまだ 当の配布など、コミュニケーション 地区ごとのお祭り(神楽)、社日祭り、 少子高齢化が進み、限界集落におち は20数名、かなりの速いスピードで もあります。ぜひ遊びに来て下さい。 くの石橋、個人の作った西日本一の 学生との交流で学生と一緒に農作業 や親睦の場としてみなさんでふるさ 婦人会による一人暮らしの方への弁 ど焼き、盆踊り、ゲートボール大会、 お待ちしております。 余、恵曽、大飛の滝、 マチュピチュ、西椎屋の滝をはじめ で汗も流しています。童謡「ふるさ ふれあい運動会、なんぶん市、どん 行事の参加人数も減少していますが、 でなく人口の減少により地区の伝統 いりつつある状態です。子供ばかり たくさん残っています。最近話題の 20年前は100名、 棚田、上恵良・余温泉 大銀杏、数多 現在



もあるのです。 新学期を迎えることのない学校 タートしています。そんな中、 では新入生を迎え新学期がス 迎えたような気がします。学校 4月になりようやく春本番を

られました。 り所でもあると改めて感じさせ の場であり、 あると同時に地域の活力、交流 きたのです。学校は教育の場で なった取り組みがたくさん行わ ちにしていたのだと強く感じま 復校式には、地域の皆さんも多 年ぶりに復校した羽馬礼分校の いなくなるのです。 に通うため、分校に通う児童が 童が4月から5年生となり本校 校の休校式が行われました。児 れ、分校が地域の活力となって 日には、分校と地域とが一体と した。また、学校行事や教育の 数参加され、分校の復校を心待 先日、南院内小学校羽馬礼分 地域の皆さんの拠 4年前、 16

組みが必要となるのではないで いことをしっかり認識した取り しょうか。 今後、児童が減少していくな 地域での学校の役割が大き

河野睦夫